

来週の『売り物記事』はこれ



2017年6月23日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

香川・豊島 産廃撤去闘争／知られざる師弟の絆

25日（日）



1980年代前半から90年にかけて、国内最大級の産業廃棄物が不法投棄された瀬戸内海の離島・豊島（てしま）＝香川県土庄（とのしょう）町。約91万トンのあった産廃の撤去が完了したのは3月28日のことでした。豊島では不法投棄した業者ばかりでなく、それを知りつつ放置した香川県の責任が問われました。



元日弁連会長の中坊公平さんは住民側弁護団長を引き受け、2000年に成立した公害調停は県がすべての産廃を島外に撤去し、約6千㌦西の直島（なおしま）で無害化处理するという内容の「完全勝利」を収めました。しかし調停成立後、撤去を見守るべき住民運動は衰退します。中坊さんも、社長を務めた住宅金融債権管理機構で起きた問題の責任を取る形で弁護士を廃業。自ら社会との関係を絶ち、豊島を訪れることもなくなりました。そんな中、運動の先頭に立ってきた島民の安岐正三さん（66）は中坊さんの晩年まで交流を続け、孤独感が増す闘いの支えにしていました。豊島の住民運動を先導した「師弟」の、知られざる絆をつづります。

筆者は東京科学環境部の鈴木理之記者です。

歌手としての活動にも注目

薬師丸ひろ子さんが語る「私の幸せ」

夕刊特集ワイド 26日（月）



女優の薬師丸ひろ子さん＝写真＝は、「セーラー服と機関銃」の主題歌を歌って以来、シンガーとしても活動を続けてきました。昨年9月には歌手活動35年を記念して、奈良の春日大社で一夜限りの野外コンサートも開きました。50代になって、ますます円熟味を増す薬師丸さんにとって「歌うこと」はどんな意味を持つのか。そして、役作りの難しさとは、幸福な時間とは——今の思いをたっぷり語ってもらいました。

健康狂想曲 格差社会

くらしナビA面 30日（金）

日本人の置かれた健康をめぐる状況を年間を通して探る連載「健康狂想曲」、今回のテーマは「格差と健康」です。低賃金の非正規雇用が増え、正社員も世帯収入が減少するなか、病院に行くお金を惜しんでぎりぎりまで耐えてしまい、症状が悪化したとの悲鳴が聞こえてきます。貧しいがゆえに健康に差が出てしまってもよいのか、現代社会の病理を探ります。



異世代ホームシェア

くらしナビA面 27日(火)



高齢者の自宅にある空き部屋を、学生が間借りする「異世代ホームシェア」が広がっています。高齢者は1人暮らしの不安を解消でき、学生は安く学校の近くに住むことが可能になります。仲介するNPO法人も各地にできているほか、大学が共同実施する例も。実際にどのような生活なのか、東京都練馬区で異世代のホームシェアをしている住宅取材しました。

毎日かあさん最終回

おんなのしんぶん 26日(月)

西原理恵子さんが足掛け16年にわたって連載した漫画「毎日かあさん」が終了します。娘が16歳になって自立の道を歩み、母を卒業する「卒母」の時期が来たとの考えからです。この日に合わせては西原さんの万感の思いがこもった最終回の漫画とメッセージ、過去の名作と本人のミニ解説、年表など、毎日かあさんのフィナーレにふさわしい紙面をお届けします。



どう変わる 医療と介護 2018年度同時報酬改定

医療・福祉面 28日(水)



公的な医療保険と介護保険のサービス提供価格である診療報酬と介護報酬が来年4月、6年ぶりに同時改定されます。急速な高齢化による社会保障費の急増や担い手不足が見込まれるなか、それに対応した医療・介護の提供体制が大きな課題になります。「リハビリ」「退院支援」「特養の看取り」などの現状を取り上げます。

藤井聡太四段 29連勝の大記録かけ、26日対決

連勝新記録のかかる将棋の中学生棋士、藤井聡太四段(14)＝写真＝が26日、竜王戦決勝トーナメントで増田康宏四段(19)と対局します。勝てば29連勝の大記録を、デビュー以来負け知らずで達成することになります。

史上最年少で棋士となり、集中力と読みの深さはトップ棋士もうならせませす。運も味方に付けての快進撃。どこまで強くなるか、日本中が注目しています。



'17 都議選企画 漂う市場

社会面 28日(水)



東京都の小池百合子知事＝写真＝は、豊洲市場に移転し、築地市場を再開発する基本方針を示しました。「豊洲移転・築地再開発」が争点になる中、23日には東京都議選(7月2日投開票)が告示されました。「汚染された土地」というイメージが付き、子供のいじめ被害も出始めたという豊洲地区。地域住民や市場関係者は今、何を思い、都議選の先に何を見ているのでしょうか。移転問題を通して、首都・東京の未来を考えます。